

「大学でのDXに向けたクラウド活用」

主催 : システム運用管理分科会

➤ 1.開催日時

2022年7月27日（水） 15:00 – 16:30

オンライン分科会（当日はWebex Meetings（Cisco社）を使用いたします）

➤ 2.概要

「大学でのDXに向けたクラウド活用」をテーマとして、システム運用管理分科会主催のオンラインイベントを開催いたします。

当日は、日本にクラウド普及をした第一人者であるNCRI株式会社の津田博士にご講演をいただきます。意外と知られていない、クラウドビジネスの構造・安全・信頼性についての解説、さらには、DXの本質と大学のクラウド&DXには何が必要かをテーマとして、研究者・起業家の立場より解説いただきます。

クラウドの選定、活用で課題を抱えている方、クラウド活用のメリット・留意点を学びたい方など会員校の教職員であればどなたでもご参加可能です。お忙しい時期の開催となり恐縮ですが多くの皆様のご参加をお待ちしています。

➤ 3.スケジュール・内容

※スケジュール、内容等に関しては変更になる場合がございます。

15:00 分科会開始
○開催挨拶

○ご講演「大学でのDXに向けたクラウド活用」
NCRI株式会社 代表取締役社長/工学博士 津田 邦和 様
<https://ncri.co.jp/company/>

- ・ご講演は60分を予定しています。
- ・クラウドの歴史 ・クラウドのビジネスモデル ・クラウドビジネスの構造/安全/信頼性
- ・クラウド/DXの本質 ・大学のクラウド&DXに必要なもの

○意見交換・質疑応答（20分程度）

・イベント後半はNCRI株式会社の津田様のご講演を受けての質疑応答、また参加者皆様による意見交換を通して他大学取り組みや、課題等に関して共有する場としたいと思います。

16:30 ○終わりの挨拶
分科会終了

➤ 4.津田邦和 プロフィール

総務省における自治体クラウドのガイドライン（SLA策定）、クラウドセキュリティガイドライン、データセンター開示項目ガイドラインの策リーダー他、政府クラウド関連モデルプロジェクト実験・民間クラウドプロジェクト等を提案・実施。製品企画及び新規プロジェクト推進やマーケティング経験、起業経験から、民間企業クラウドプロジェクト支援・経営/事業推進コンサル・寒冷地型データセンター設計・クラウド販売教育・政府プロジェクト等に従事し、実戦に則した支援を実施。クラウドビジネスを構成する業際的な要素—DCからアプリケーション—を一貫して研究、実践と経験を踏襲したクラウド・DCプロジェクト推進支援を行っています。

★電気通信大学大学院 情報システム学研究科 博士課程 修了 Ph.D.

専門分野：システム設計学/クラウドコンピューティング/データセンター設計

★NCRI株式会社 代表取締役社長 兼 会長

東京理科大学特別講義講師・東海大学講師（非常勤）
北見工業大学講師（非常勤）・東海大学講師（非常勤）
新潟コンピュータ専門学校講師（非常勤）
民間企業顧問などに就任



★札幌市出身、北海道札幌東高校卒

★1980年～研究開発活動

動的HTMLによるアプリケーションサービス研究、光センサータッチパネルの研究開発と国際特許取得、ビデオコンファレンスシステムの開発特許取得・インビジブルコンピューティング（のちのユビキタス）の研究等に従事、TTC-デジタル通信プロトコル国際WG委員、クラウド関連の研究開発・特許取得・論文著書執筆多数

★1996年～日本国内クラウドの普及活動・・・政府クラウド国際会議事務局長・国内最初のクラウド業界団体ASPICの創設者・常務理事、超低消費電力DC寒冷地Green Energy Data Center（外気と雪氷を活用したDC）の発案者・北海道GEDC研究会会長、寒冷地GEDCフォーラム会長、他歴任。

クラウド関連

- 総務省地域情報化評価 委員
- 総務省「公共ITのアウトソーシングに関するガイドライン」作成
- 総務省「ASP・SaaSセキュリティ研究会」委員
- 総務省「ASP・SaaS国際連携委員会」副主査
- 総務省グローバル時代におけるICT政策に関するTFメンバー
- 経済産業省中小企業基盤機構サービスモデル研究会 委員
- 電信電話技術委員会ISDN標準化TFメンバー
（北米西欧との技術標準文案作成・討議）
- 財務省通関システム検討会 委員（入札準備）
- 自治体の顧問や情報化推進支援・入札仕様作成・入札委員
東京都／大阪府／青森県／岡山県／千葉県／新潟県／沖縄県／宮崎県／札幌市／仙台市／立川市／昭島市／小金井市他
- 自治体クラウド総務省セミナー（2004）講師（約5000名実施）

DC関連

- 電気学会論文、津田邦和・田野俊一・市野順子・森俊介
「データセンターの電力需要と地域間のエネルギー統合」
- IEEE「“Lower Data Center Power Consumption through Use of the Climate Characteristics of Cold Regions and Inter-regional Energy Integration”,
Dec.10-12, 2010, Shanghai
- 総務省地球温暖化対応のためのICT政策研究会 WG委員
- 総務省データセンター情報開示項目ガイドラインWG事務局長
- 総務省データセンター・ASP・SaaSの環境配慮対策の研究
- 総務省（石狩市）緑の分権改革推進事業データセンターへのグリーンエネルギー（外気冷房・雪氷冷房）導入検証と評価
- インプレスデータセンター完全ガイド「特別連載：寒冷地GEDC（グリーンエナジーデータセンター）実現への道のり」
- ZDネット連載「国が考えるデータセンター地方分散化の利点と課題」

➤ 5.トピックス

2022.06.01

大学での本格的な「クラウド基礎講座」がスタート

国内におけるクラウドの解説・研修は、NCRI(株)社長の津田（Phd.）により、2000年より約20年に渡り、企業及びシンクタンク、公共団体職員向けに実施されてきました。

また大学向けには2010年より、非常勤による臨時特別講義90分×1コマで、クラウドの基礎的な講座が実施されてきました。（東京理科大学・東海大学・北見工業大学・専修大学等）

これらの受講生は、累積で1万4千人以上となりました。

そこでこの20年の経験を踏まえ、開志専門職大学西川先生との協力により、2022年4月より、文部省に届け出された常設の大学シラバスに登録された講座として、下記のようなクラウドの基礎講座が始まることとなりました。

■2022年4月より（2023年2024年も同一講座で予定）

■講座開設大学：開志専門職大学

■講座：2単位（90分×15コマ）

■講師：津田邦和（Phd.：特別講師）・西川浩平（開志大学講師：専任講師）

■テキスト：「大学生のためのクラウド基礎講座」A4版247P、著者：津田・西川、

出版：NCRI(株)（2022年4月現在は市販しておりませんが、年末をめどに計画中）

■概略内容（テキストに沿った座学講義とアプリ・インフラ演習）

第1章 コンピューターとネットワークの基礎

第2章 ネットコンピューティング（クラウド）の概略

第3章 ネットコンピューティング（クラウド）のモデルとメリット

第4章 DCとアプリケーション

第5章 ベンダー・クラウド選定プロセス

第6章 要素技術：通信の仕組み

第7章 クラウドの要素技術

第8章 開発手法とDevOps

第9章 クラウドの広がりDX



➤ 6.お申込み・お問合せ先

【参加費】 無料

【参加対象】 CS研 会員（正会員・賛助会員）であれば部署・部門を問わず、どなたでもご参加いただけます。

【申込URL】 下記URLよりお申込みをお願いいたします。

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/70154>

- ・ お申込みいただいた方には開催日前日までに参加の為のURLをメールにてご連絡いたします。



【お申込URL】
QRコード

【申込期限】 7月19日（火）まで

【事前アンケートURL】 下記URLより事前アンケートにご協力をお願いいたします。

https://fujitsuvoice.eu.qualtrics.com/jfe/form/SV_0vnC3f3t01Hz6p8



【事前アンケートURL】
QRコード

※参加に必要な物 パソコン、インターネット回線、
「聞く・話す」の両方が使える、ヘッドセットもしくはイヤホンマイク等

※当日はWebex Meetings（Cisco社）を使用いたします。

※インターネット回線やご自身のPCの状況により、接続できない場合や、聴き取りにくい場合があります。
ご了承ください。

【お問合せ先】

私立大学キャンパスシステム研究会 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内

E-mail : fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com (小川、高橋、宮島、仙崎)